

# 全体像の徹底解明と厳正処分を

「アングラ推薦名簿」の授受は人事への介入とその容認  
「金品」の授受は名古屋市職員倫理規定違反  
「内覧」は教職員課OBの介入と「金品」接待の場  
→どこをみてもすべて犯罪的！



## 市教委、金品・推薦名簿授受！ 元凶は愛教大学閥

「アングラ推薦名簿・金品」授受の背景には「愛教大学閥」があります。



わたしたちは、この問題発覚以来、市教委と交渉し、名簿・金品授受に関係した団体・人物、金品の使途、始まった時期、内覧の実態など、全貌を明らかにし、教職員や保護者・市民に公表するよう求めています。また、最終報告書作成に向け調査中の検証チームには、「愛教大学閥」の人事支配の実態解明に資する資料を提供しています。

2023年度市小中学校長会  
役員

会長＝愛教大卒  
副会長の100％＝愛教大卒  
理事の100％＝愛教大卒  
小学校長の78％＝愛教大卒  
中学校長の70％＝愛教大卒

愛  
教  
大  
学  
閥  
＝  
支  
配

2023年度教職員課

課長＝愛教大卒  
首席管理主事＝愛教大卒  
主任管理主事＝愛教大卒  
管理主事の78％＝愛教大卒  
愛教大卒以外の1人の配偶者は愛教大卒校長  
愛教大卒以外のもう1人は三重大卒＝第二閥

愛知県教職員労働組合協議会

名古屋市教職員労働組合 ☎242-4474

がっこうコミュニティユニオン・あいち

がっこうコミュニティユニオン・なごや

# 区校長会・教科研究会・大学同窓会等々の「**アングラ推薦名簿**」の背景は…

管 理 職	校長 ↑C	学校は左のような教員で構成されている。
昇任↑B	教頭	教務主任は「分掌名」にすぎないが、名古屋では「 <b>中間管理職</b> 」扱い
教諭	教務主任 ↑A	され、管理職と合わせて「三役」とよぶ。↑Aは昇進ではないが便宜的に「昇進」とする。

A～Cの↑を経て昇進していく。その条件は市教委の公式制度で、  
①教職経験年数や年齢の他に、  
②**校長の推薦**、と決められている。  
これによって、校長に対してもの言えぬ教員がつくられる。

市教委の公式昇任制度の大改革を。教務主任候補者を校長が市教委に推薦するのは、名古屋・愛知と千葉だけ！教務主任任用候補者を市教委が配置するのは、名古屋・愛知だけ！東京や大阪の教頭・校長選考審査は教諭が「自己推薦」で参加する！「校長による推薦」の廃止が昇任人事制度改革の第一歩だ。

校長から推薦されると、「**教職実績書**」や「**推薦書**」が教職員課に送られ、課は、これらの書類審査(教務主任候補はこれのみ)とともに、「面接」「筆記試験」等の「**選考審査**」をする。  
公式制度によって、教職員課には**個人データ**が蓄積される。  
今回の報道のなかで、校長OBたちが口をそろえて「**アングラ推薦名簿**は教職員課に個人情報伝えるために必要だ」と言うが、**大ウソ**だ。

「**選考審査**」では、推薦された者は「**全員合格**」！とされ、教務主任や管理職の「**任用候補者名簿**」に**登録**される。  
「**候補者名簿**」の有効期間は、教務主任は1年、教頭6年、校長3年である。

教務主任任用候補者は、「**候補者名簿**」の有効期間が1年なので、「昇進」の機会**は実質的に4月の1回だけ**となる。  
→この機会を逃すまいとして**押し上げを工作する!**

**校長会や大学同窓会、教科研究会等が「アングラ推薦名簿」を作成**

愛知県教職員労働組合協議会 がつこうコミュニティユニオン・あいち  
名古屋市教職員労働組合 ☎242-4474 がつこうコミュニティユニオン・なごや

教頭任用候補者、校長任用候補者も大変だ。校長任用候補者でみると、実際はこうだ。

年 度	新規搭載の校長任用候補者数(人)	校長昇任者数(人)	教頭で定年退職した者(人)
2020	92	76	9
2021	96	72	11
2022	115	67	9
2023	112	63	7

2023年4月の昇任者63名は、2020～2022年の任用候補者から任用された(名簿の有効期間が3年だから)のだが、単純化して2022年新規登録の115名から任用されたとしよう。任用されなかったのは52名となる。同様に考えると、2022年の未任用者は29名、2021年は20名、この3年間で未任用候補者は**101名**となる(実際は、2022年の新規登録者は2023・24年も有効なので、このペースで累積されるわけではない。が、**教頭のままで定年退職する者が出る**)。→「**同じ釜のめしを食った**」仲間たちが、**未任用の待機組の引き上げを工作する!**